

導入事例

トタル・エナジー社

トタル・エナジー社は、Open iTのレポートで
石油・のコストを約40%削減

“Open iTと連携することにより、
ハイエンド・ソフトウェアアプリケーションの内部動作を把握し、
稼働状況をモニタリングすることができるようになりました。
これまでできなかったことです。”

クラウス・モラー氏

業務効率化スペシャリスト, トタル・エナジー社

概要

- 世界的な石油・ガス会社では、ハイエンド・ソフトウェアアプリケーションのコストを削減する必要がありました。
- Open iTは、世界規模で使用状況データを分析できる点が評価されました。
- ダッシュボードと詳細なレポートがベンダーとの契約交渉に役立ちました。
- 現在トタル・エナジーS.A.の傘下にあるトタル・エナジー社は、Open iTによって非アクティブなライセンスを自動的に解放し、アクティブに使用されないソフトウェアに対する支払いを停止しました。
- 探査・生産（E&P）ソフトウェアのコストを約40%削減しました。

会社・事業概要

トタル・エナジー社は、現在トタル・エナジーS.A.の傘下にある国際石油・ガス企業で、2016年の権益生産量は原油換算で日量31万3000バレル、デンマーク、英国、ノルウェー、カザフスタン、米国メキシコ湾、アルジェリアから産出しています。アンゴラ、ケニア、ブラジル、イラクのクルディスタン地域、産出国での探鉱・開発活動が進行中です。

経営課題

トタル・エナジー社は、石油・ガス価格の急落を受け、より効率的なコスト管理と制御を行う必要に迫られました。技術的に進んだ多くの企業と同様に、同社も競争上優位に立つために価値の高いソフトウェア・アプリケーションに依存しています。これらのアプリケーションは、いつ、誰が、どのように使用しているかについての詳細な情報がないため、十分に活用されていないことがよくあります。数年前、トタル・エナジー社はソフトウェアライセンス管理ツールを導入し

ましたが、ライセンスの最適化と使用状況を分析する機能は限定的で、ライセンスの運用に焦点を置いているものでした。

同社は、全社的なソフトウェアライセンスの管理・運用の可視化のレベルを向上させるため、ソフトウェアライセンスの最適化および契約管理の専門部署（SLOE）を社内に立ち上げました。SLOEの役割は、現在の原油価格の低迷を乗り越え、同社がより高いレベルの業務生産性を達成できるよう支援することです。

業務プロセスを詳細に分析し、タスクやワークフローなど、アプリケーションをより効率的に活用できる分野を特定することでこの取り組みを主導するため、業務効率化スペシャリストであるクラウド・モラー氏が任命されました。モラー氏は、グローバル・サブサーフェイス・ポートフォリオ管理者とE&Pシミュレーションスペシャリストとしての経歴を持ち、使用中のアプリケーションに関して必要とされる知識とベンダーとの作業経験がありました。E&Pアプリケーションのベンダーも、ライセンスモデルに変更を加えていました。交渉のために使用状況パターンを分析し、見直すには最適な時期でした。

解決策

SLOEチームは、ハイエンドアプリケーションを極めて正確に分析し、最適化できることが評価されたOpen iTの使用状況計測・最適化ソフトウェアの概念実証を完了しました。Open iTのソリューションにはビジネスインテリジェンス（BI）ダッシュボードが含まれており、アプリケーションの使用状況データ、各アプリケーションのアクティブと非アクティブの使用時間を視覚的に分析・把握し、チェックアウトされたが非アクティブなライセンスを自動的に解放できるようにしました。また、ペーパーユースの契約をサポートするために独立系ソフトウェアベンダーのデータを統合する唯一の計測・最適化ソリューションでした。

Open iT のユニークなライセンス最適化アプローチは、エンドユーザーの効率性を向上させるのみでなく、拡張性のあるベンダー契約を可能にすることで、契約交渉にもメリットをもたらします。

組み込まれたダッシュボードとレポートにより、トタル・エナジー社の経営陣は、Open iTを使用する前には見抜けなかった詳細な知見を得ることができました。これらのレポートの例としては、以下のようなものがあります。

- **ヒートマップ** — アプリケーションごとの最大使用状況を時間単位で示すレポート
- **同時使用ユーザー数** — 使用回数に応じたコスト削減の可能性など、主要な機能の使用頻度を確認するための毎日の同時ユーザー数のレポート
- **LAN対WAN** — グローバル同時使用、ローカル同時使用とネームドユーザーなどの様々なライセンス契約をシミュレーションし、必要なライセンス数を決定するレポート
- **ライセンスの分配** — 所在地とサブグループごとにどのアプリケーションが使用されているかを把握するレポート
- **生産性のレベル** — ユーザーがライセンスを使用せずにチェックアウトし、一定期間で非アクティブになった事例を特定するレポート

すぐに使えるレポートにより、トタル・エナジー社のSLOEチームはグローバルな傾向を分析し、部門とユーザーレベルごとに詳細を掘り下げて、新たなベンダー契約を評価し準備することができました。新たに取得したデータを確認してからわずか数週間で、同社は十分に活用されていないソフトウェアや、以前は知られていなかった使用状況パターンを検出できるようになりました。

ハイエンドアプリケーションの使用場所と頻度をより完全かつ正確に把握することで、トタル・エナジー社はベンダー契約の再交渉を行うことができました。同社は、ソフトウェアライセンス数をエンドユーザーに合わせると同時に、市場環境の改善に応じて拡張する余地を残すため、トッププロバイダーの1社とより拡大可能な契約を締結しました。Open iTの使用状況レポートを使って、使用状況に基づく契約交渉を行いました。これは、双方にとって安定したものでした。

トタル・エナジー社はまた、Open iTのソフトウェアに非アクティブなライセンスを自動的に解放する追加機能を採用しました。新たなペイパーユース契約では、この自動解放の機能により、トタル・エナジー社はアクティブに使用されていないソフトウェアに対する支払いを停止することができました。

結果

Open iTのソリューションを使用することで、トタル・エナジー社は石油・ガスソフトウェア資産の管理の質を高め、主要なアプリケーションの一つのコストを 39 %削減しました。実装後1年以内に、同社はOpen iTの投資に対して2004%のROIを達成しました。また、このソリューションは、労働組合や厳しい欧州個人情報保護法の要件も満たしています。

Open iTによる節約と効率の向上がトタル・エナジー社の経営陣から好評を博しました。ソフトウェア・アプリケーションを最適化し、コスト意識の高いアプローチをとることで、同社が低迷期を乗り切るための支えとなり、業界が力強い回復を見込んでいる中、競争上の優位性をもたらします。

Open iTについて

Open iTは、柔軟なソフトウェア使用状況の計測・管理ツールを提供し、顧客へ最良のITソリューションを提供しようとする企業のサービス価値とビジネス実現性を大幅に向上させます。ハードウェアとソフトウェアの先進の使用状況レポートと最適化ソリューションを提供します。お客様は、Open iTのツールやサービスを利用して、ITコストの削減、パフォーマンスの向上、ビジネスプロセスの改善をサポートしています。

Open iT ソフトウェアは、完全にカスタマイズ可能な使用状況レポート、ハードウェアとソフトウェアの使用状況に対するきめ細かいチャージバック、Windows、Unix、Linux プラットフォームにおける自動化された業界最先端のライセンス解放機能などを提供します。Open iTの計測および最適化ツールは、ソフトウェアおよびIT資産の管理者に、ライセンスマネージャを使用していないアプリケーションやウェブアプリケーションに加えて、異なるライセンスマネージャ間での高度な使用状況の計測結果を提供します。

詳細情報

お客様の組織のニーズに最適なソフトウェアソリューションの一部または全部については、sales-jpn@openit.com まで電子メールでお問い合わせください。詳細については、弊社のWebサイト (<https://openit.com/ja/>) をご覧ください。

お客様からのフィードバックを歓迎し、support-jpn@openit.com を通じて技術的な質問にお答えします。

	JAPAN 〒107-0052 東京都港区赤坂 二丁目23-1 アークヒルズ・フロントタワー InControl内 電話:080-9271-1046	AMERICAS Two Park Ten Place 16300 Katy Freeway Houston, TX 77094 Tel: +1 281 599 3400	EUROPE AFRICA Karoline Kristiansens v. 5 N-0661 Oslo, Norway Tel: +47 22 20 40 50	ASIA MIDDLE EAST Doña Aurora Blvd., Gulang-Gulang, Lucena City 4301 Philippines Tel: +63 42 710 856
--	---	---	---	---